

■行政提案型市民協働事業について

<令和3年度テーマ（案）>

1	<b>テーマ（事業名）</b> <b>多文化共生社会の推進</b>	<b>担当部署：</b> 企画財政部政策室
	<b>【現状と課題】</b> 市内において現在約1,300人の外国人住民が生活を送っているが、言葉や文化の違いから、地域での生活に困難があるといった声もある。外国語通訳ボランティア派遣事業等の実施により、行政機関等における手続等の支援を行っているが、生活に必要な情報の多言語化等、地域の一員として暮らすことができる環境づくりの推進が引き続き必要である。	
	<b>【テーマに対する事業の条件・内容等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の多言語化等外国人住民の不安や困りごとの解消に繋がるもの</li> <li>・外国人住民が地域社会との繋がりを持つことができるもの</li> <li>・地域社会で活躍できる機会の創出に繋がるもの</li> </ul>	
	<b>【協働により期待される効果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ分野に精通した団体との協働により、課題解決に有効な事業実施が期待できる。</li> <li>・多文化共生社会の推進に関して、市民への啓発にも繋がることを期待できる。</li> </ul>	
2	<b>テーマ（事業名）</b> <b>特殊詐欺被害防止</b>	<b>担当部署：</b> 総務部安心安全課
	<b>【現状と課題】</b> 市では、調布警察署、調布市役所、防犯協会等と連携して特殊詐欺被害防止に取り組んでおり、市職員による未然防止、調布警察署の検挙件数が高い水準にあるといった成果も出ている。他に、特殊詐欺被害防止策として自動通話録音機の貸与、防災行政無線や安心安全通信、駅頭キャンペーン等による注意喚起を実施している しかしながら、市内では、令和2年中に27件4,040万円もの特殊詐欺被害が発生している。	
	<b>【テーマに対する事業の条件・内容等】</b> 特殊詐欺被害防止のこれまでの取組を紹介し、既存事業の見直しや被害防止につながる新たな取組を市民協働で企画すること	
	<b>【協働により期待される効果】</b> 市民目線で事業を企画することによって、新たな発想や視点を盛り込んだ事業を展開することが期待でき、その結果、市内の被害発生の減少に繋がることを期待できる。	

3	<b>テーマ（事業名）</b> <b>狛江の次世代特産商品の開発</b>	<b>担当部署：</b> 市民生活部地域活性課
	<b>【現状と課題】</b> 広島はもみじ饅頭とお好み焼き、仙台は牛タン等、その土地その土地には名物となる食べ物がセットになっていることが多く、特産品を賞味することを目的にその土地を訪れることもある。狛江市ではこれまで他の地域に比べて粒が大きく甘みのある「枝豆」をPRするとともに、市内事業者によって市内の農産物である枝豆を利用した「えだまめアイス」や「こまえる」等の商品開発が行われ、販売されてきたものの、季節ものの要素が大きく、広く認知されているとは言えない状況である。	
	<b>【テーマに対する事業の条件・内容等】</b> 季節を問わず、老若男女に広く愛される魅力的な特産品を開発すること	
<b>【協働により期待される効果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狛江市に愛着を持ってもらうとともに、特産品を目当てとした市外からの来客が期待できる。</li> <li>・ 特産品の知名度が上がることにより、狛江市の知名度向上につながることを期待できる。</li> </ul>		
4	<b>テーマ（事業名）</b> <b>社会的弱者への見守り事業</b>	<b>担当部署：</b> 福祉保健部福祉相談課
	<b>【現状と課題】</b> 近所や地域の付き合いが希薄な社会になったことや、核家族化によって夫婦だけで生活していた後に配偶者との離別や死別により単身となる高齢者が増加していること等の影響から、高齢者の孤独死は特に都市部で増加傾向にあり大きな問題となっている。	
	<b>【テーマに対する事業の条件・内容等】</b> ①チラシの作成・配布 衣類が汚れたままである・家のごみであふれている・理解力が低下したように感じる等のセルフネグレクトや認知面での低下が懸念される事例、新聞や郵便物が溜まっている・昼夜を通して照明が点灯している（または夜間に点灯されない）・姿を見かけなくなった等の孤独死が懸念される事例、これらに気づいた際の相談（通報）先等をまとめたチラシを、見回りをしている方々等の意見も参考に作成し、全戸配布することにより、早期の相談（通報）に繋げる。 ②講演会の実施 福祉施設職員等を講師に迎え、気づきや見守りの「コツ」と連絡方法等について講演会を実施することにより、地域住民の理解を深める。	
<b>【協働により期待される効果】</b> 支援や安否確認を必要としている方の情報をいち早く得ることに繋がり、孤独死に至る前に発見・対応することで、一人でも多くの救える命を救うことが期待できる。		

5	<b>テーマ（事業名）</b> <b>多世代間におけるフレイル予防の取組について</b>	<b>担当部署：</b> 福祉保健部高齢障がい課
	<b>【現状と課題】</b> 超高齢社会である日本においては、2040年まで高齢者がさらに増加する状況にあつて、介護保険事業における給付費も増加が続いており、平均寿命と健康寿命の差を縮める取組が求められている。 しかし、高齢者になってから突然身体を動かせと言われても対応することが難しいことから、幼少期や若年期から日常生活における運動を習慣化させる必要がある。	
	<b>【テーマに対する事業の条件・内容等】</b> フレイル予防につながるもの	
	<b>【協働により期待される効果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体が主体的に取組を進めることによって、自発的な活動に寄与することが期待できる。</li> <li>・多世代で実施することで、世代間交流につながることを期待できる。</li> </ul>	
6	<b>テーマ（事業名）</b> <b>「(新)子育てガイドブック」の作成</b>	<b>担当部署：</b> 子ども家庭部子ども政策課
	<b>【現状と課題】</b> ICTが個人の生活に浸透していく中で、子育て世帯への情報伝達については、その時々々のSNSツールの活用や市民協働サイトの開設・運営、ワークショップにおける子育て世帯の皆さんとの意見交換等、行政としても試行錯誤しながらこれまで取り組んできた。 しかしながら、価値観やライフスタイルが多様な子育て世帯への情報伝達は、行政にとって常に課題であり続けている事柄であり、直近で策定した狛江市子ども・若者応援プラン（令和2年3月）においても『多様な媒体による情報提供と双方向コミュニケーションの推進』により、この課題に対応しようとしている。 紙媒体でも電子媒体でも、いかに子育て世帯の生活を具体的に想像し、その生活の中でガイドブックの情報が活用される場面を明確にイメージできるか、ということが、情報伝達に当たってのポイントになると考えている。	
	<b>【テーマに対する事業の条件・内容等】</b> 子育て世帯の生活スタイルを踏まえ、ストレスなく必要な情報が得られるガイドブックを新たに作成すること	
	<b>【協働により期待される効果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達のターゲットである子育て世帯の視点でガイドブックの構成を検討することで、市職員による検討では生まれにくい発想や視点から、より子育て世帯の生活に寄り添ったガイドブックを作成できることが期待できる。</li> <li>・子育て世帯に広く配布するガイドブックの作成への参画を通じて、市役所を身近に感じ、市政への関心の高まりにも期待できる。</li> </ul>	

7	<b>テーマ（事業名）</b> <b>ゼロカーボンシティの実現に向けた環境情報の発信</b>	<b>担当部署：</b> 環境部環境政策課
	<b>【現状と課題】</b> 令和3年3月26日、市長が2050年ゼロカーボンシティを表明した。 狛江市のエネルギー使用の約6割は家庭分野が占めており、省エネ化に取り組むには、市民の理解・取組が必須である。取組を一層強化するための周知方法の検討が必要である。	
	<b>【テーマに対する事業の条件・内容等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が家庭で実践できる身近で効果的な取組を紹介するためのイベントの開催や啓発ツールの作成</li> <li>・取組に当たっては、市民が省エネ行動等の効果や利便性を実感できることを重視すること</li> <li>・脱炭素化に向けて取り組む事業者等との協働も視野に入れること</li> <li>・啓発ツールについては、協働団体との話し合いの中で市民目線から具体化していくこと（例えば、「ゼロカーボンシティへの道」（パンフレット）の作成等）</li> </ul>	
<b>【協働により期待される効果】</b> 市民が主体となることで、より生活の実態に即した効率的な省エネ等の取組を発信・周知徹底でき、エネルギー使用量の約6割を占める家庭分野の脱炭素を推進することが期待できる。		
8	<b>テーマ（事業名）</b> <b>空家利活用マッチングリスト作成事業</b>	<b>担当部署：</b> 都市建設部まちづくり推進課
	<b>【現状と課題】</b> 空家利活用の推進に当たり、利活用に向けたマッチングが進捗しない中、具体的な利活用計画（要望）に基づき進めてみたい利活用要望リストとその事業イメージ図や事業スキーム図等を作成し、空家所有者に送付し、利活用の推進を図る。	
	<b>【テーマに対する事業の条件・内容等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングリストの作成</li> <li>・空家利活用に関する事業イメージ及びスキーム図の検討・作成等</li> </ul>	
<b>【協働により期待される効果】</b> 具体的な要望をもとに、空家利活用に向けた計画を事前に整理し、空家所有者に視覚的に示し、具体的な交渉のきっかけにつなげることが期待できる。		

9	<b>テーマ（事業名）</b> <b>市民のスポーツ活動を促進し、スポーツの裾野を広げるための取組</b>	<b>担当部署：</b> <b>教育部社会教育課</b>
	<b>【現状と課題】</b> 令和3年3月に改定した「狛江市スポーツ推進計画」に基づき、市民のスポーツ活動を促進し、スポーツの裾野を広げていくことが求められる。また、市民団体等と行政が協働する等、地域が一体となって取組を推進していくことが課題となる。	
	<b>【テーマに対する事業の条件・内容等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ体験イベント等、スポーツ活動を促進し、スポーツの裾野を広げる事業</li> <li>・えきまえ広場や体育施設等を活用すること</li> </ul>	
	<b>【協働により期待される効果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民（団体）が持つノウハウや人脈を活用した創意工夫のある取組が期待できる。</li> <li>・市民と行政が協働により実施することで、地域の一体感を高めることが期待できる。</li> </ul>	